**第2期アジア・日本研究推進プログラム**

**申　請　調　書**

2023年　　月　　日

立命館アジア・日本研究機構長　殿

・青字の注意事項は全て削除した上で提出してください。

・文字サイズは10ポイント以上としてください。また、行間の設定（15ポイント）は変更しないでください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| プロジェクト  リーダー | 所属・職名： | 氏　　名： | |
| 連絡先 | e-mail　： | | |
| 研究分野 | 3つの研究分野のいずれかを選択してください。 | | 内線：　　　 　外線： |
| プロジェクト  名称 | （英文表記　： ） | | |

・必要に応じて行を追加してください

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属 | 職位  学年 | 学位 | 専門分野 |
| プロジェクトメンバー |  |  |  |  |  |
| プロジェクトメンバー |  |  |  |  |  |
| プロジェクトメンバー |  |  |  |  |  |
| 若手研究者 |  |  |  |  |  |
| 大学院学生 |  |  |  |  |  |
| 計　　　　　名　　（内、女性　　　名：　　　　%） | | | | | |

**プロジェクト構想**

・評価者が理解しやすいように記述してください。そのため、必要に応じて図や表も用いてください。

Ⅰ～Ⅷの項目は　 4ページ以内（厳守） にまとめてください。

|  |
| --- |
| Ⅰ．研究の目的・目標   1. 研究の目的 2. 研究期間終了時に達成しようとする具体的な研究成果の目標 3. 研究期間終了時に、SDGsの課題の解決や目標の達成にどのように寄与するか（17の目標のうち最大3つを指定して具体的に記述してください） 4. 本プロジェクトを進めるにあたっての特徴点や特記事項 |

|  |
| --- |
| Ⅱ．研究の背景  本プロジェクトの重要性・必要性が明らかとなるよう、①アジア・日本研究推進プログラムが掲げる主旨（アジアにおける様々な課題の解決）、②社会の変容に伴う課題分析および制度・政策、経済・産業等の要請、③必要に応じて当該研究分野や関連分野の動向等を適宜含めて記載してください。 |

|  |
| --- |
| Ⅲ．研究計画とその進め方  具体的な研究構想・研究計画を記載してください。 「Ⅰ．研究の目的・目標」をどのように達成しようとするのか、構想・計画を具体的にするために、  ①研究構想の概要図（ポンチ絵）および簡潔な説明（概要図はプロジェクト全体の組織図等を用いて、それぞれの役割及び活動内容等を明確に示してください。）  ②「Ⅰ．研究の目的・目標」へ向けた研究のマイルストーン（研究の途上での、研究の達成度の判断基準と時期）を示しつつタイムスケジュールの大枠を記載してください。 |

|  |
| --- |
| Ⅳ．研究実施の基盤および準備状況  本プロジェクトを推進する基盤となる、①研究提案者自身（および必要に応じて研究参画者）のこれまでの研究の経緯と成果、②その他の予備的な知見やデータ等（存在する場合）について、具体的に記載してください。 |

|  |
| --- |
| Ⅴ．研究の将来展望  この研究構想の「Ⅰ．研究の目的・目標」の達成を端緒に、その波及効果として将来実現することが期待される社会貢献・国際貢献等を、研究提案者が想定し得る範囲で記載してください。 |

|  |
| --- |
| **Ⅵ．プロジェクト展開による研究拠点形成および計画**  ①研究拠点形成、②海外研究機関とのグローバルな連携、③本プロジェクト期間中および終了後の科研費の特に中・大型種目やその他の学外資金への申請計画およびその目標について記載してください。本学およびアジア・日本研究所の国際的プレゼンスの向上に資する要素（レピュテーション向上への貢献への期待等）については、明記できる事項は、②の中に記載してください。③の現状は「Ⅹ. 外部資金」欄に記述しても構いません。 |

|  |
| --- |
| **Ⅶ．若手研究者育成計画**  プロジェクトで任用・雇用する若手研究者や大学院学生などをどのように育成し、キャリアパスに繋げるかについてプロジェクトとしての全体的な方針を記載してください。また、当プロジェクトの助成期間（3年間）満了後のキャリアパスや別の雇用原資による任用・雇用計画がある場合はそれらについても記載してください。 |

|  |
| --- |
| **Ⅷ.マネジメントについて**  どのような構想を持って円滑なプロジェクト運営をし、プロジェクトを推進するかについて基本的な考え方を明らかにしてください。また、過去の異なる研究組織におけるマネジメント実績や他の研究費に係る研究組織における企画・運営、国際学会の企画・運営、各学会の運営等における研究計画・運営等がある場合、それらについて記載してください。 |

**表紙ページを除き、ここまでで4ページ以内としてください。**

|  |
| --- |
| **Ⅸ．研究業績**   1. これまでに発表した論文、著書、産業財産権等、招待講演のうち、主に2019年以降を中心に、本プロジェクトに関連する重要なものを、プロジェクトリーダーにおいては最大10件程度、それ以外の参画者においては最大5件程度選定し記載してください。（年代の新しい順に並べて記載し、参画者の名前には下線を引くなど明確にしてください。論文については可能であればインパクトファクターを併記してください） 2. 上記の業績の中で、特に重要と思われるものについて、プロジェクトリーダーおよび各参画者につき1～3件程度を該当する各件の下にその内容を簡潔（3行程度）に記載してください。 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Ⅹ. 外部資金（科研費、政府系および民間助成を含む競争的研究費等）への申請実績および採択結果（2019～2023年度申請時点まで）、今後の申請予定（2023年度申請以降）について | | | | | | |
| 申請実績（2019～2023年度申請時点まで） | | | | | | |
| 申請年度 | 外部資金名称 | 研究課題名 | 代表者氏名 | 金額（千円） | 研究期間 | 採否 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 今後の申請予定（2023年度申請以降） | | | | | | |
| 申請年度 | 外部資金名称 | 研究課題名 | 代表者氏名 | アジア・日本研究推進プログラムとの関連性 | | |
|  |  |  |  |  | | |
|  |  |  |  |  | | |
|  |  |  |  |  | | |
|  |  |  |  |  | | |
|  |  |  |  |  | | |
|  |  |  |  |  | | |
|  |  |  |  |  | | |

**研究費計画**

・費目別の研究費計画を年度ごとに記入してください。

**○費目別の研究費計画** （千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 初年度  2024.4-2025.3 | 2年度  2025.4-2026.3 | 3年度  2026.4-2027.3 |
| 人件費 |  | | |
| ・研究教員  （准教授・助教）  ・専門研究員  ・研究員　他 |  |  |  |
| 合算予算※ |  |  |  |
| 人件費小計 |  |  |  |
| 人件費以外 |  |  |  |
| ・機器備品費 |  |  |  |
| ・消耗品費 |  |  |  |
| ・旅費交通費 |  |  |  |
| ・諸謝金 |  |  |  |
| ・会議渉外費 |  |  |  |
| ・図書資料費 |  |  |  |
| ・その他 |  |  |  |
| 人件費以外  小計 ※2 |  |  |  |

※1　人件費に関して、他予算との合算使用の予定がある場合には、合算予算名および割合も記載してください。

**○購入予定の機器備品**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名称 | 予定額（千円） | 購入の必要性 |
|  |  |  |
|  |  |  |

* 1点または1組の取得価格が50万円以上になる機器備品について記載してください。

**研究進捗ロードマップ**

研究課題推進計画（プロジェクト開始時から終了時までの年度別）を記載したロードマップ（Ａ４で１枚）を作成してください。

別紙にて添付いただいても構いません。